

あおやま
青山もん!



あおやまちゅうがっこう

青山中学校だより

No.03 2023.6月号

発行者 青山中学校長



出会い・発見・ほっとけん! 青中人権の集い

“正しく理解する”ことで、私たちはよりよい社会づくりの担い手となるぞ!



「障がいの有無にかかわらず、誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例」をふまえながら、6月16日(金)「青中人権の集い」を開催。ゲストに、多数のメディアに登場し、世界的な注目も浴びる「やまなみ工房」の施設長・山下完和さんを迎え、「僕の色、わたしのカタチ」と題し、青中に応援メッセージをいただきました。

「めっちゃくちゃわかりやすかった!」「私は家族のことを思い浮かべて聴いていました!」と山下さんに話しかける生徒も。山下さんの「いっしょに考えてほしい」という呼びかけに、一生懸命聴く

(受けとめる) 空気を創り出したのはまぎれもなく生徒の皆さん一人ひとりです!



ホームページ Web(ウェブ) 日記で学校の様子

の様子: 修学旅行特集や

アート家庭部作品展など

発信しています。

ぜひご覧ください!

【写真左】中野うどん学校

【写真右】ネスタリゾート神戸



チーム青山2023(文化・スポーツ部門)表彰紹介

- 伊賀市中学校ソフトテニス大会 団体の部 優勝
個人の部 第3位 ()ペア ()ペア
- 伊賀市中学校剣道大会 女子個人の部 第3位 ()
男子個人の部 第1位 () 第3位 ()
- 伊賀市バスケットボール大会 男子の部 第3位
- 名張市卓球選手権大会 個人の部 準優勝 ()
- 「社会を明るくする運動」伊賀市作文コンテスト
優秀賞 () 奨励賞 ()



★次回伊賀地区中学校体育大会・県吹奏楽コンクールに向けて!! 《※個人名⇒Web版は掲載しません》

裏面あり

あおやま けいさい ねが
チーム青山2023のマニフェストを掲載します！ よろしくお願ひします。

がつ せいと ほごしゃ みな がっこうきょういく ねが
7月、生徒とともに保護者の皆さまへ「学校教育」についてアンケートをお願ひします。

多彩な学校（社会）づくりの主体者として、
自分を「みつめる」 他者と「つながる」 夢や目標に向かって「やってみる」
ことで自己実現をめざす生徒を育てる。

めざす子ども像 ○ 自分をみつめ、「なりたい自分」になるために意欲的に学ぶ生徒
○ 自分（他者）を大切にし、考えや気持ちを送受信し、つながり合う生徒
○ 将来の生き方を描き、その実現に向けて行動する（やってみる）生徒
○ 多彩な経験を、次代の社会づくりの主体者として活かせる生徒

めざす教職員像 ○ 多様な生徒たちのくらし（生活）に寄り添える教職員
○ 情熱とやりがいをもって、学び続ける教職員
○ 互いに尊敬し信頼し合い、チームワークで課題解決に挑む教職員



1 わかりやすい授業の創造を通して、生徒の「自己肯定感・学ぶ意欲」を

わかりやすい授業の創造に努めます。

- 授業がわかりやすいと実感できる生徒を85%以上にします。
- 授業に一生懸命取り組む生徒を90%以上にします。
- 協同的な授業で、互いに支え合う生徒を85%以上にします。
- 「めあて」の提示と、「振り返り」により学習の定着を図ります。

学習の習慣化に取り組みます。

- 保護者と連携し、自主勉ノートなどを活用して家庭学習に取り組む生徒を80%以上にします。
- 学校や家庭での読書の時間を大切にし、毎月1冊以上本を読む生徒を70%以上にします。

2 人権を大切にする教育活動を通して、生徒の「自信・安心・自由」を

人権意識を高め、自分の考えや思いを安心して発信（受信）できる場をつくります。

- 人権学習等を通して人権意識を高め、人権を大切にする生き方を学んでいると感じる生徒を90%以上にします。
- 日常的な活動やクラスミーティング、「青中人権の集い」等を通して、思いを出し合える雰囲気（関係）づくりを進め、自分の考えや思いをわかってくれるなかまがいると感じる生徒を90%以上にします。

信頼関係を深めるなかまづくりを推進します。

- 学校生活が楽しく充実していると感じることができる生徒を90%以上にします。
- 学級活動・生徒会活動・部活動等、さまざまな場面で自分（なり）の役割を精一杯果たす生徒を90%以上にします。
- 体育祭や文化祭などの活動に積極的に参加し、充実感を味わえる生徒を90%以上にします。

3 さまざまな場面でのキャリア教育の推進と、生徒の「夢・目標」の具現化を

- 人との出会いや体験活動等を通して、自己を見つめ、生き方や将来について考える生徒を90%以上にします。
- 探求心を持ち、一生懸命ものごとに取り組むことのできる生徒を育てます。
- あいさつ・言葉遣い・服装など、望ましい基本的な生活習慣の定着を進め、社会人としてのマナーが身につけてきていると感じる生徒を95%以上にします。

4 さまざまなツールを活用して、「対話」を大切に「信頼される学校づくり」を

- 授業参観・自由参観・体育祭・文化祭等の機会を通して、学校教育を参観できる機会を毎月設定します。
- 学校日より・学年通信・ホームページ等で情報を発信し、学校の様子が分かると感じる保護者を90%以上にします。
- 保護者との対話や連携を大切にし、教職員は子どもの理解に努め適切な指導を行っていると感じる保護者を90%以上にします。
- 教職員が地域に学ぶ機会を持つとともに、PTAや地域と連携して、懇談会や研修会、行事などを行います。

5 働きやすい職場環境づくりを通して、教職員一人ひとりの「やりがい・元気」を

- 生徒理解に努め、「親身になって相談に乗ってくれる先生がいる」と感じる生徒を80%以上にします。
- 教職員がやりがい・元気をもって、子どもたちと向き合えるよう、総勤務時間の縮減に取り組みます。